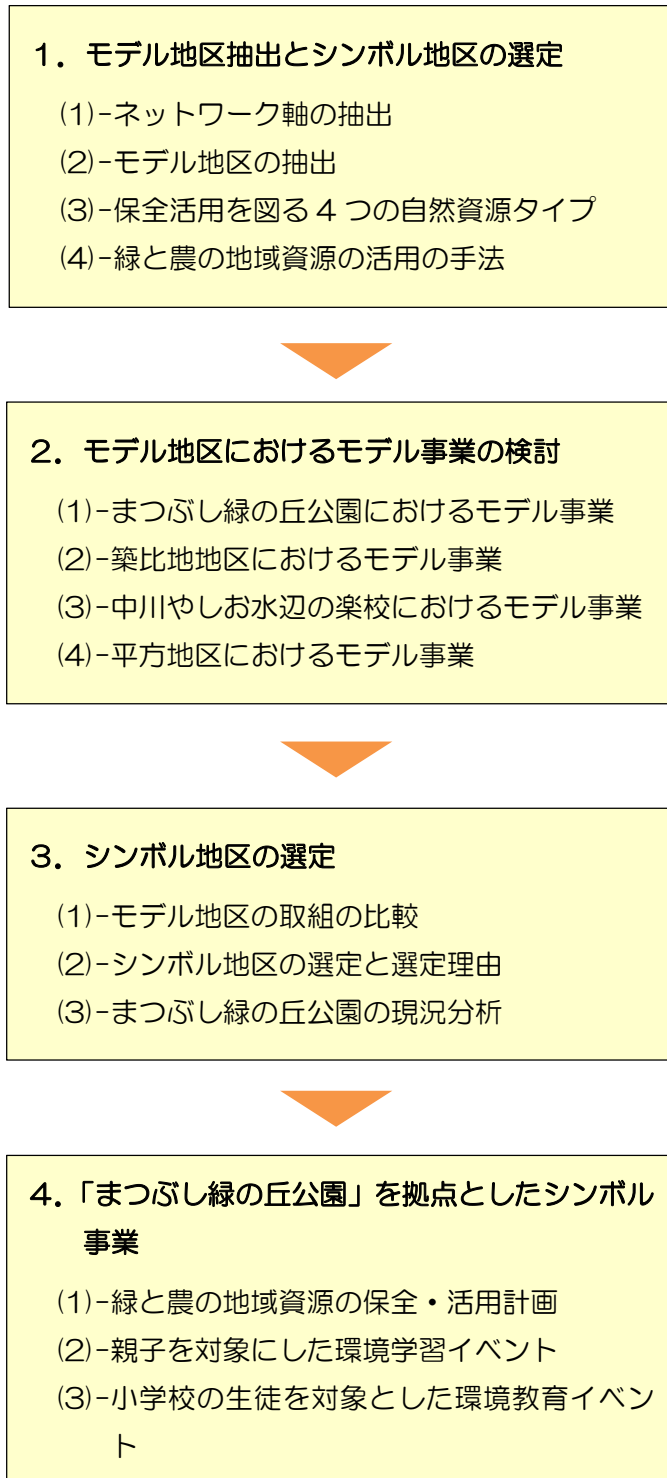


III

緑と農の地域資源の 保全・活用計画の検討

「緑と農の地域資源の保全・活用計画の検討」の概要と流れ



図Ⅲ-1 取組-2の概要と流れ

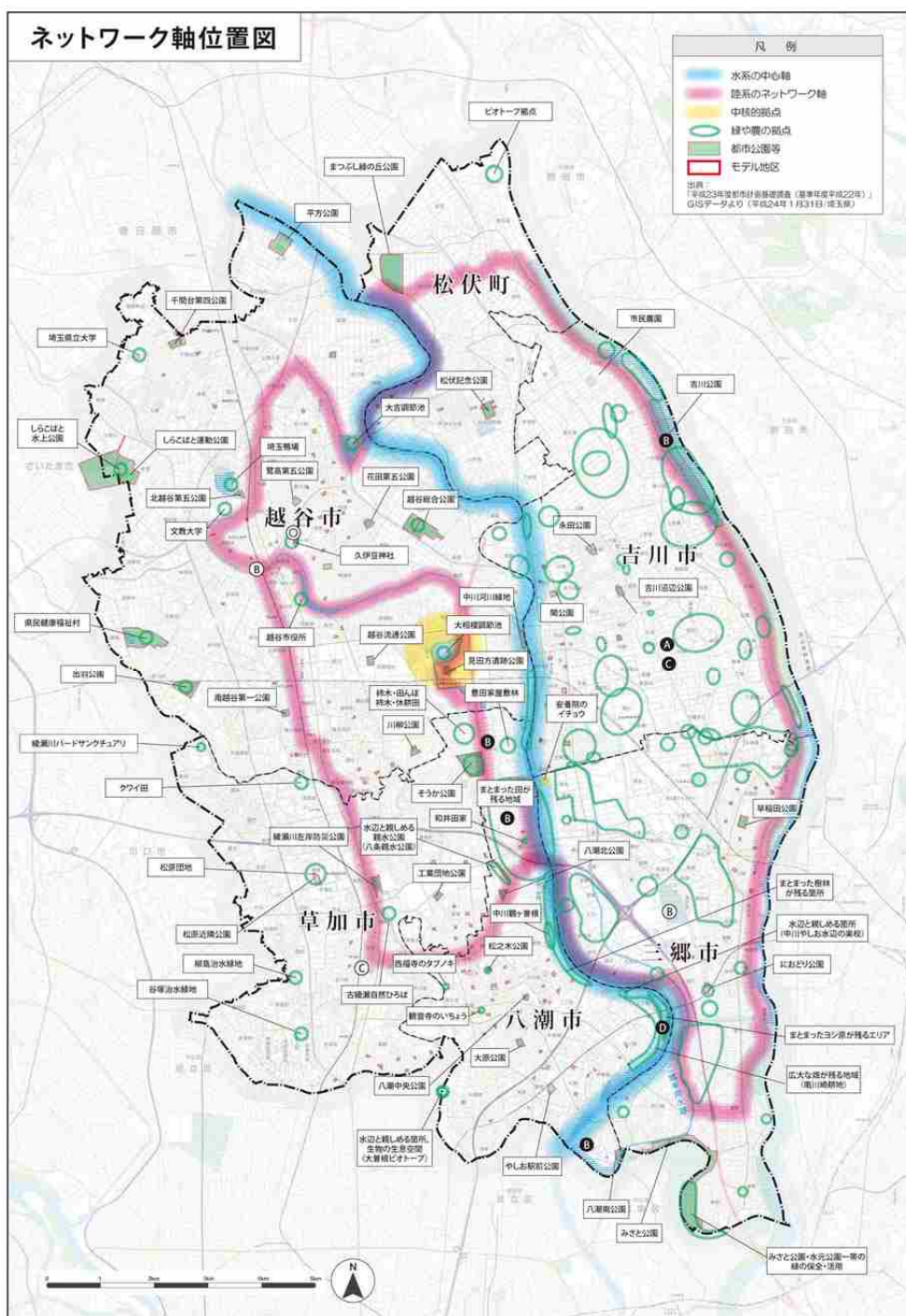
Ⅲ. 緑と農の地域資源の保全・活用計画の検討

1. モデル地区抽出とシンボル地区の選定

(1) ネットワーク軸の抽出

本圏域の中に1つの拠点と2つの軸を設定する。

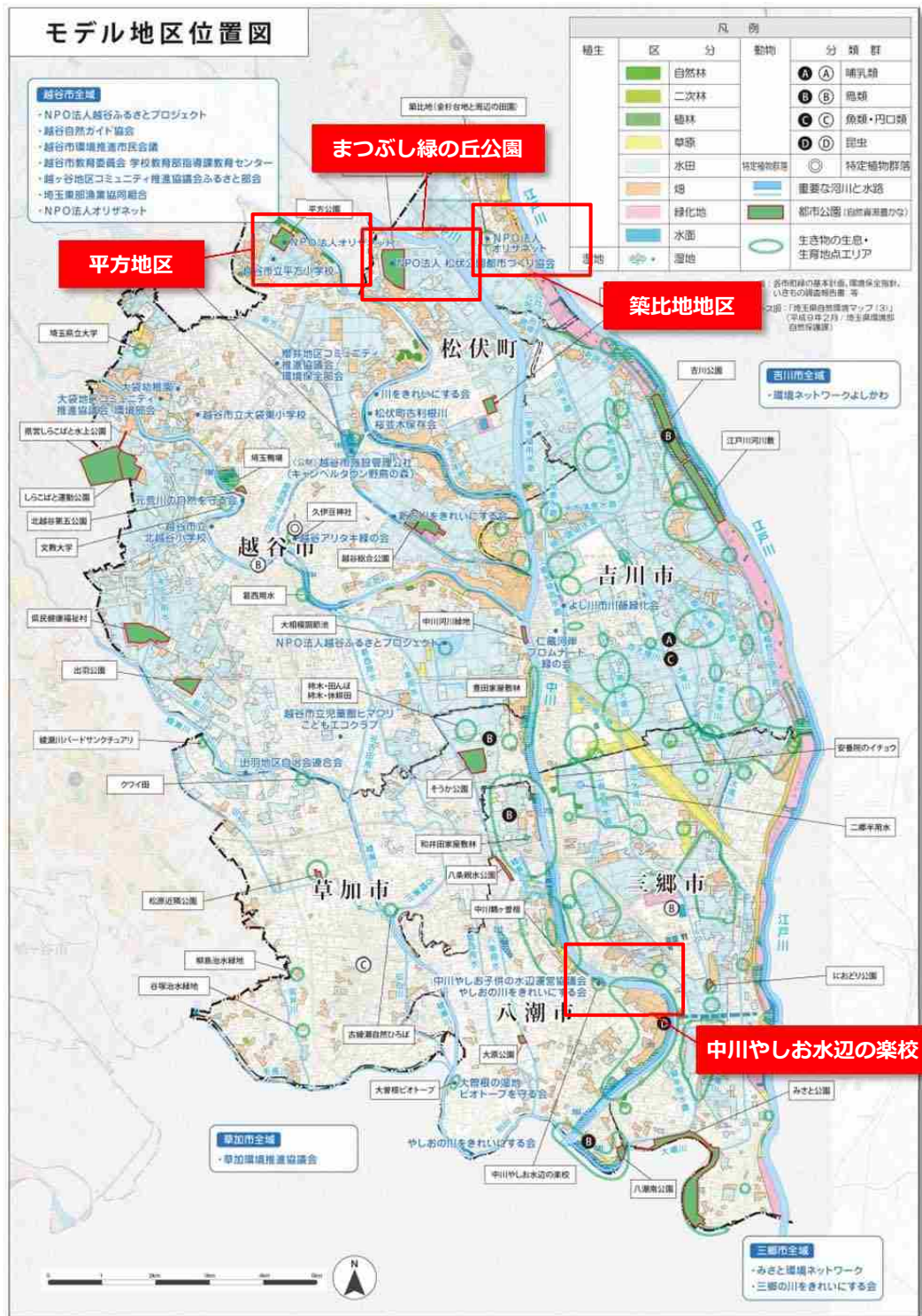
- ・水系の中心軸：中川（含大落古利根川）
- ・陸系のネットワーク軸：各市町の特徴的な自然資源ポイントをつなぐ円環軸
- ・中核的拠点：大相模調節池（越谷レイクタウン地区）



図Ⅲ-2 ネットワーク軸位置図

(2) モデル地区の抽出

平成 27 年度の調査において「豊かな自然資源的要素」、「土地の公的担保性の確保」、「管理活動などの担い手の存在」の視点から、「まつぶし緑の丘公園」、「築比地地区」、「中川やしお水辺の楽校」、「平方地区」の 4 箇所をモデル地区に設定した。



図Ⅲ-3 モデル地区位置図

(3) 保全活用を図る4つの自然資源タイプ

本圏域の中でモデルとなる4つの地区を、「都市公園」、「樹林・屋敷林」、「農地」、「河川・水路」という、保全すべき自然資源4タイプの視点で分類すると、下記のようにまとめられる。

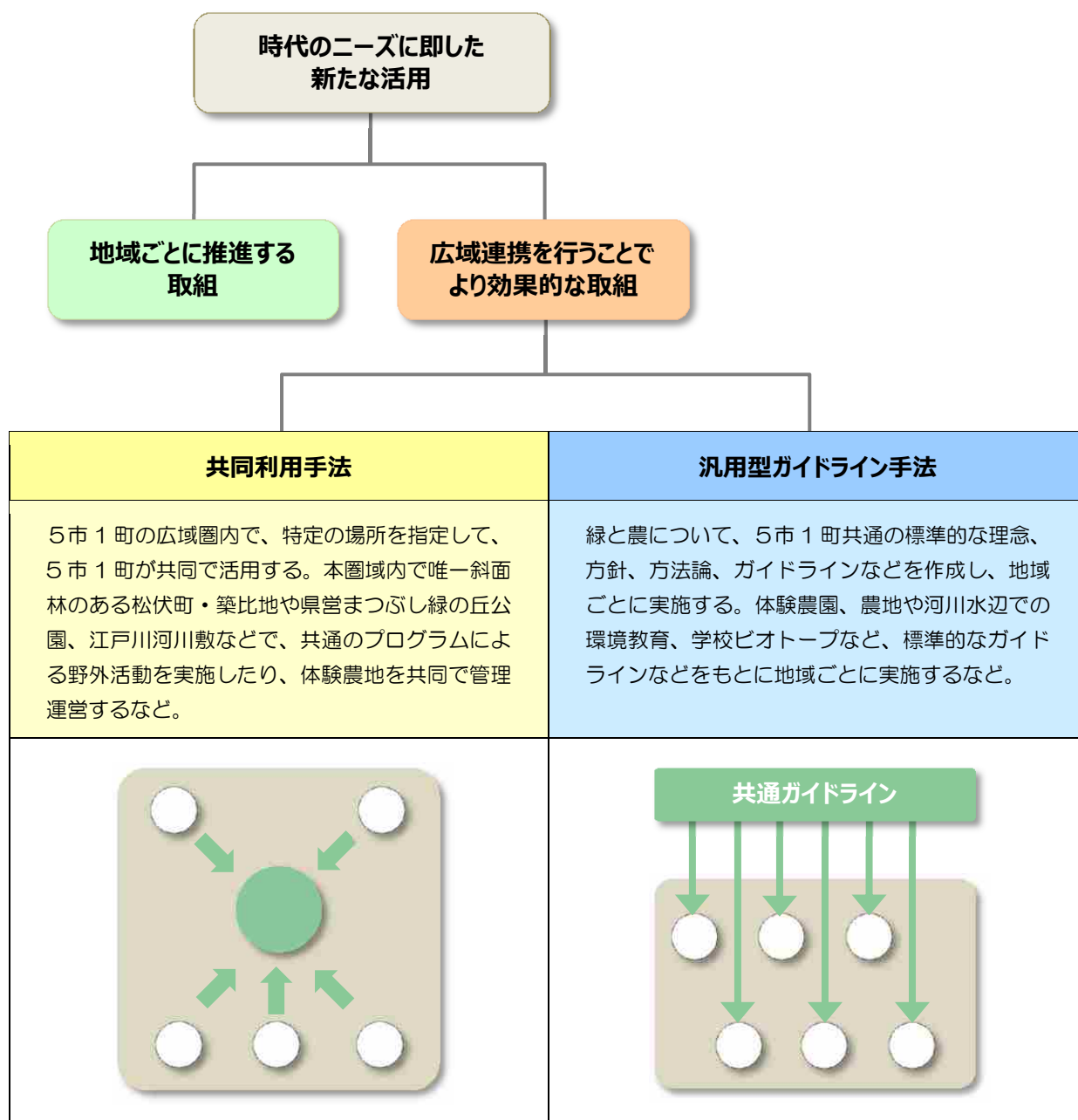
<p>① まつぶし緑の丘公園</p>	都市公園	樹林・屋敷林	農地	河川・水路	
<p>水辺ゾーン、広場ゾーン、里山ゾーンからなる都市公園。都市計画決定面積 26.5ha。周辺には農地が広がっている。</p>				松伏町	
 <p>まつぶし緑の丘公園</p>					
<p>図Ⅲ-4 まつぶし緑の丘公園</p>				<p>写真Ⅲ-1・2 まつぶし緑の丘公園</p>	
<p>② 築比地地区（金杉台地と周辺の田園）</p>	都市公園	樹林・屋敷林	農地	河川・水路	
<p>本圏域唯一の台地である金杉台地の周辺に広がる広大な農地。金杉台地の斜面林や水路とともに美しい田園景観が創出されている。</p>				松伏町	
 <p>築比地地区（金杉台地と周辺の田園）</p>					
<p>図Ⅲ-5 築比地地区</p>				<p>写真Ⅲ-3・4 築比地地区</p>	
<p>③ 中川やしお水辺の楽校</p>	都市公園	樹林・屋敷林	農地	河川・水路	
<p>平成 27 年に開校した自然体験や環境学習の出来る親水空間。今後は協議会を主催とした魚類調査や各種イベントが行われる予定。</p>				八潮市	
 <p>中川やしお水辺の楽校</p>					
<p>図Ⅲ-6 中川やしお水辺の楽校</p>				<p>写真Ⅲ-5・6 中川やしお水辺の楽校</p>	
<p>④ 平方地区（平方公園と周辺の樹林、農地）</p>	都市公園	樹林・屋敷林	農地	河川・水路	
<p>本圏域の北にある農地に付随する樹林。屋敷林を越谷市が買い上げ、ふれあいサンクチュアリーとして市民に開放している樹林もある。平方公園は、周辺を農地に囲まれた都市公園。野球場、テニスコート、遊具などのレクリエーション施設に加え、池、草地や疎林があり自然要素も豊かな都市公園。</p>				越谷市	
 <p>平方公園</p>					
<p>図Ⅲ-7 平方地区</p>				<p>写真Ⅲ-7・8 平方地区</p>	

(4) 緑と農の地域資源の活用の手法

緑と農の地域資源の活用に当たり、地域の特性を活かして地域ごとに取り組む必要のあるものと、5市1町の広域的な取組を行うことで、より効果的な成果が得られるものがある。

また、広域的な取組を行う上で有効な方法として、特定の場所を指定して共通のプログラムを行う「共同利用手法」と、共通の標準的な理念、方針、方法論、ガイドラインなどを作成し地域ごとに実施する「汎用型ガイドライン手法」がある。

本調査においては、広域連携を行うことでより効果的な取組の「共同利用手法」と「汎用型ガイドライン手法」を併せて検討していく。



図Ⅲ-8 緑と農の地域資源の活用の手法

2. モデル地区におけるモデル事業の検討

(1) まつぶし緑の丘公園におけるモデル事業

①ポテンシャル

- 公園内には駐車場、トイレの他、レクチャールーム、大型休憩舎、青空教室用のベンチ等が設置されている。
- 公園周辺には、広い水田が広がり、土水路などがあり、生物多様性などの多面的機能や、食が作られる地域を学習する場所に適している。

まつぶし緑の丘公園 保全・活用計画			
連携方式		共同利用手法	
資源	課題の分類	解決を目指す広域的課題	主な活動内容
緑	緑の機能の活用	環境教育	林の作業体験 林の生態系・生物の学習 水辺の生態系・生物の学習
農	住民の理解	食が作られる環境の理解を重視した食育の推進 食育や多面的機能理解に連動した学校農園の推進	農業体験 田んぼの生態系・生物の学習



図Ⅲ-9 まつぶし緑の丘公園の保全・活用計画



写真Ⅲ-9 地域が見渡せる築山



写真Ⅲ-10 野鳥等の観察が出来る水辺



写真Ⅲ-11 青空教室の出来るベンチ



写真Ⅲ-12 大型休憩舎



写真Ⅲ-13 芝生広場



写真Ⅲ-14 室内学習のできる公園内施設



写真Ⅲ-15 周辺の農地

②活動に使える既存の資源、施設等

- 環境資源 里山、樹林、水辺、学習室、手洗い、駐車場
- 施設・設備 屋内施設(トイレ、レクチャールーム)、大型休憩舎、青空教室の出来るベンチ、駐車場

③活動案

- 農業体験：種まき、田植え、草取り、稲刈り、稲架け、脱穀
- 田んぼの生態系、生物の学習：稲の育成観察、水生生物調べ、害虫・益虫調べ、田んぼ周りの植物観察、イネの花の観察、バッタ類の観察
- 林の作業体験：落ち葉さらい、堆肥づくり体験
- 林の生態系、生物の学習：林の生態系学習、土壌生物の学習、落ち葉の分解の学習
- 水辺の生態系、生物の学習：トンボ類などの水生生物の学習、水辺の植物の学習

④活動のねらい

- 食が作られる環境の理解を重視した食育や、多面的機能理解に連動した体験学習の促進

⑤必要となるもの

- 調べ学習ができる書籍類の設置
- 学校農園として使える田んぼの確保
- 5市1町の取組に対応した活動プログラムの作成
- 年間を通して、多人数の小学生が使用できるテキストの作成
- 一般来園者向けのプログラムの作成

⑥まつぶし緑の丘公園で行う事のメリット

- 大型バスによる多人数の受け入れが可能。
- 公園内にあるレクチャールーム等を使った調べ学習、まとめの学習を室内で行える。
- 体験、調べ学習、講義が一か所でできるため、小学校などの総合的学習への高い効果が期待できる。

⑦活動イメージ



写真Ⅲ-16 田植え体験



写真Ⅲ-17 現場学習



写真Ⅲ-18 林の落ち葉さらい



写真Ⅲ-19 林の学習



写真Ⅲ-20 大型バスで移動可能

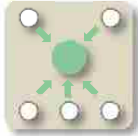


写真Ⅲ-21 公園施設を使った室内学習

(2) 築比地地区におけるモデル事業

①ポテンシャル

- 旧金杉小学校跡地運動場が当時のまま残っている。
- 旧金杉小学校の校舎のあった場所は、松伏町老人福祉センターになっている。
- 松伏町農村トレーニングセンターが立地し、学習室としての活用が期待できる。
- 金杉台地の西端にあり、金杉用水路とともに樹林帯が伸びている。
- 周辺には広い水田地帯が広がっている。
- 江戸川に近く、子どもたちの野外活動の体験場所及び基点に適している。

築比地地区 保全・活用計画				
連携方式		共同利用手法		
資源	課題の分類	解決を目指す広域的課題		主な活動内容
緑	緑の機能の活用	環境教育 5市1町環境学習野外活動センター		子ども自然塾 夏休みふるさと体験教室

環境要素



図Ⅲ-10 築比地地区の保全・活用計画



写真Ⅲ-22 松伏町老人福祉センター



写真Ⅲ-23 旧金杉小学校校庭跡地



写真Ⅲ-24 松伏町農村トレーニングセンター



写真Ⅲ-25 池



写真Ⅲ-26 水田地域



写真Ⅲ-27 金杉用水路



写真Ⅲ-28 金杉台地樹林帯



写真Ⅲ-29 江戸川河川敷

②活動に使える既存の資源、設備等

- 環境資源 池、水田地域、金杉用水路、金杉台地樹林帯、江戸川河川敷
- 施設・設備 松伏町老人福祉センター（トイレ）、旧金杉小学校校庭跡地（駐車場）、松伏町農村トレーニングセンター（トイレ、学習室、更衣室）

③活動案

- 子ども自然塾：江戸川探検
- 夏休み ふるさと体験教室：キャンプ、自由研究

④活動のねらい

- 水田、水路、樹林帯、江戸川を活用した子どもたちの野外体験活動の推進

⑤必要となるもの

- 5市1町の取組に対応した活動プログラムの作成。
- 年間を通して、多人数の小学生が使用できるテキストの作成。

⑥築比地地区で行う事のメリット

- 公共交通機関への利便性が高い。
- 多人数の受け入れが可能。
- 老人福祉センターや松伏町農村トレーニングセンターを基点に活動をする事で、調べ学習、まとめの学習を室内で行う事が出来る。
- 体験、調べ学習、講義が一か所でできるため、子ども会、学童保育、公民館、小学校など様々な野外体験活動に高い効果が期待できる。

⑦活動イメージ



写真Ⅲ-30 江戸川探検



写真Ⅲ-31 キャンプ体験

(3) 中川やしお水辺の楽校におけるモデル事業

①ポテンシャル

- 水辺の楽校として国交省により整備された。
- 地域住民による活用のほかに、広域的な見方をすると、各地にある水辺の楽校の活用の参考となるような活用方法が求められる。

中川やしお水辺の楽校 保全・活用計画			
連携方式		共同利用手法・汎用型ガイドライン手法	
資源	課題の分類	解決を目指す広域的課題	主な活動内容
緑	環境教育	多自然川づくりの推進と活用	生きもの調べなどの活動
	緑の創出	河畔林の整備	ガイドラインを作り実施
	緑の質的向上	緑の質的向上策	ガイドラインを作り実施



図Ⅲ-11 中川やしお水辺の楽校の保全・活用計画



写真Ⅲ-32 中川



写真Ⅲ-33 八潮フラワーパーク



写真Ⅲ-34 堰・橋



写真Ⅲ-35 樹林



写真Ⅲ-36 テッキ



写真Ⅲ-37 広場

②活動に使える既存の施設、設備等

- 環境資源 中川、八潮フラワーパーク、樹林
- 施設・設備 デッキ、広場

③活動案

- 河川水辺の生きもの調べ：樹林や水辺の探検
- 樹木の生き物観察：観察会

④活動のねらい

- 住民や子どもたちの野外体験活動の推進

⑤必要となるもの

- 年間を通して、住民や子どもたちが使用できるテキストを作成する。

⑥中川やしお水辺の楽校で行う事のメリット

- 河川水辺の環境教育に資することができる。
- 八潮フラワーパークへの来訪者に、緑への興味を持つきっかけをつくる事が出来る。

⑦活動イメージ



写真Ⅲ-38 河川水辺の生き物観察



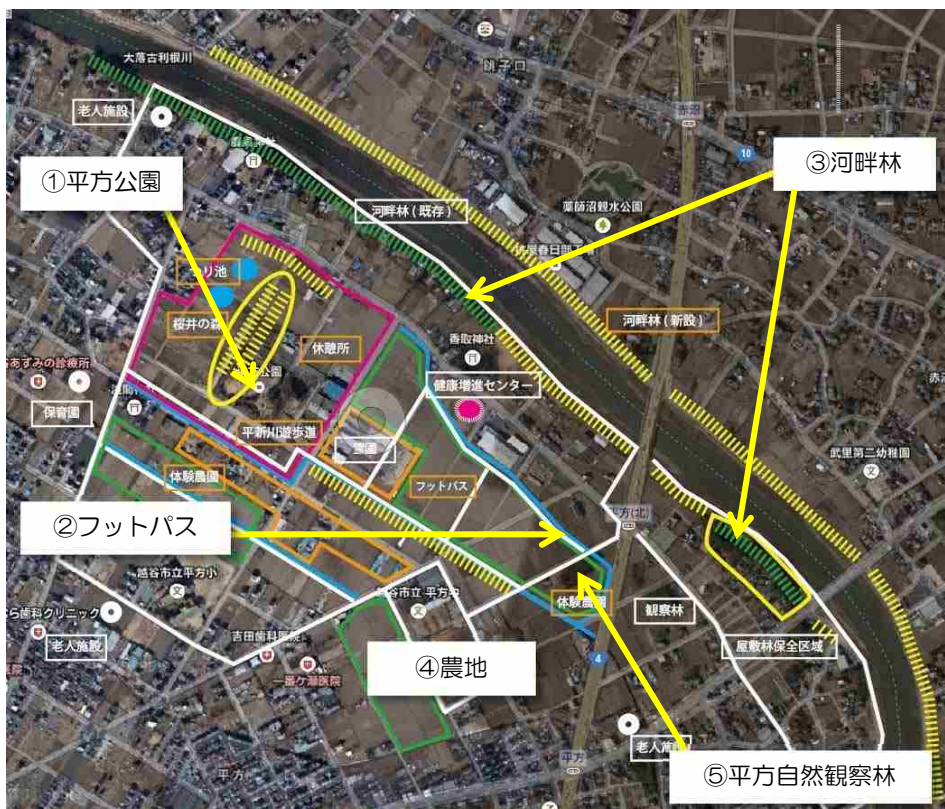
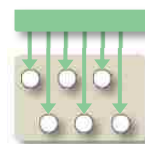
写真Ⅲ-39 樹木の生き物観察

(4) 平方地区におけるモデル事業

①ポテンシャル

- 越谷市平方地区は、市街化調整区域内の農業振興地域(白地)で、古利根川、水田、畑、屋敷林、樹林地、農業水路などのほか、小学校と中学校、デイサービスセンターなどがある。
- 緑と農に関する各種課題の多くが認められ、課題解決の活動の試行に適した環境にある。

平方地区 保全・活用計画			
連携方式		汎用型ガイドライン手法	
資源	課題の分類	解決を目指す広域的課題	主な活動内容
緑	緑の保全	樹林地の保全と整備	5市1町汎用型のガイドラインをつくり、試行実施
	緑の創出	河畔林の整備	
	緑の質的向上	公園の緑のピオアップ	
	健康づくり	広域フットパス整備	
農	緑の機能活用	防災・環境用水のありかた検討・試行	5市1町汎用型のガイドラインをつくり、試行実施
	多面的機能	ピオアップ活動の推進	
		多面的機能の理解を促進する農業体験活動の実施	
	住民の理解促進	食育や多面的機能理解に連動した学校農園の推進	
5市1町誰でも利用可体験農園の開設			



図Ⅲ-12 平方地区の楽校の保全・活用計画



写真Ⅲ-40 平方公園



写真Ⅲ-41 フットパス



写真Ⅲ-42 河畔林



写真Ⅲ-43 農地



写真Ⅲ-44 平方自然観察林（外観）



写真Ⅲ-45 平方自然観察林（林内）

②活動に使える既存の施設、設備等

- 環境資源 雑木林、古利根川の河畔林、農地・農業施設
- 施設・設備 用水路・排水路、道路・農道、学校、公園

③活動案

- 樹林地の保全と管理**：農用林として明るく保つ管理や、自然林として常緑樹を保全する管理
- 河畔林の整備**：中川、古利根川、元荒川などの河畔林を整備とガイドラインづくり
- 防災・環境用水検討**：災害時に活用できる、生物多様性に役立つ用水路の検討・実施
- 広域フットパス整備**：田園風景の中を散策できる散歩道（フットパス）整備
- ビオアップ**：普通種を絶滅危惧種にしない活動（土水路の整備等）
- 農業体験活動**：農地の多面的機能について理解できる農業体験プログラム

④活動のねらい

- 5市1町の緑と農に関する課題の多くについて、試みに対応策を実施し、5市1町への展開の可能性を検討する。

⑤必要となるもの

- 年間を通した、目的を持った管理活動が進められるガイドブック（樹林地の保全と管理）
- 住民や子どもたちが環境学習に使用できるテキスト（樹林地の保全と管理）
- 河川区域内の官地の活用、河川区域内の民地の借用などにより、河畔林が整備できる用地（河畔林の整備）
- 管理方法、管理する人たちなど、維持のための活動を示したガイドブック（河畔林の整備）
- 既存の用水路と排水路（防災・環境用水）
- フットパス用地（広域フットパス整備）
- 5市1町の主な対象場所と必要なビオアップ技術を記したガイドブック（ビオアップ）
- 体験活動に使える農地（農業体験活動）

⑥平方地区で行う事のメリット

- 5市1町で貴重な雑木林の管理、活用の検討ができる。
- 原風景である川と林の景観を回復できる。
- 農地景観を活用した観光振興や5市1町の住民の健康増進が検討できる。
- 「ふるさと米」を生産するなど、環境への意識が高い農家が存在する。

⑦活動イメージ



写真Ⅲ-46 竹林の間引き作業



写真Ⅲ-47 クワガタなどの昆虫用の木材



写真Ⅲ-48 ヤナギやハンノキなどでの河畔林整



写真Ⅲ-49 防災・環境用水



写真Ⅲ-50 フットパスの整備



写真Ⅲ-51 除草剤を使わない機械除草



写真Ⅲ-52 土水路の維持



写真Ⅲ-53 農業体験活動

3. シンボル地区の選定

(1) モデル地区の取組の比較

公園名	まつぶし緑の丘公園	築比地地区	中川やしお水辺の楽校	平方地区
連携手法	共同利用手法	共同利用手法	共同利用手法 汎用型ガイドライン手法	汎用型ガイドライン手法
環境資源	里山、樹林、水辺、水田地域（隣接） ○様々な自然資源が豊か。	池、水田地域、金杉用水路、金杉台地樹林帯、江戸川河川敷（隣接） ○5市1町には少ない、斜面林が存在する他、水辺環境も豊か。	中川、樹林、八潮フラワーパーク（隣接） ○中川沿いにワンドが作られている。	平方自然観察林、古利根川の河畔林、農地・農業施設 ○人と自然が調和した環境が存在する。
施設・設備	管理センター（トイレ、自動販売機、レクチャーホール、サークル室、展示ホール）、大型休憩舎、青空教室用ベンチ、駐車場 ○駐車場、トイレ、屋内施設等の施設も充実している。	松伏町老人福祉センター（トイレ）、旧金杉小学校校庭跡地（広場・駐車場）、松伏町農村トレーニングセンター（トイレ、学習室、更衣室） ○松伏町老人福祉センター、松伏町農村トレーニングセンターのトイレや学習室が利用できる。旧金杉小学校校庭跡地を駐車場として活用する事が出来る。	施設・設備 デッキ、広場 △駐車場がなく、アクセスも良くない為、遠方から多くの来訪者を見込んだ取組は行いにくい。隣接する八潮フラワーパークのトイレを使用可能。	用水路・排水路、道路・農道、平方小学校・平方中学校、平方公園、健康増進センター △特定の駐車場がなく、アクセスも良くない為、遠方から多くの来訪者を見込んだ取組は行いにくい。
管理者や所有者	○公営施設（県営公園）であるため、管理者が明確	△松伏町老人福祉センター、旧金杉小学校校庭跡地、松伏町農村トレーニングセンターは公共施設であるが、周辺の農地や樹林地は所有者の確認が必要。	○公有地であり、管理者が明確。	△平方自然観察林や平方公園については公共施設であるが、その農地や農道は所有者の確認が必要。
活動の視点	公園周辺には水田が広がり、生物多様性などの多面的機能の学習をする場所に適している。	江戸川に近く、子どもたちの野外活動の体験場所及び基点に適している。	地域住民による活用により、各地にある「水辺の楽校」の活用事例の参考となる活用方法が求められる。	緑と農に関する各種課題の解決の活動の試行に適している。
活動案	・農業体験 ・田んぼの生態系、生物の学習 ・林の作業体験 ・林の生態系、生物の学習	・子ども自然塾 ・夏休み ふるさと体験教室	・河川水辺の生きもの調べ ・樹木の生き物観察	・樹林地の保全と管理 ・河畔林の整備 ・防災・環境用水検討 ・広域フットパス整備 ・ジオアップ ・農業体験活動
メリット	・大型バスによる多人数の受け入れが可能。 ・公園内にあるレクチャールーム等を使った調べ学習、まとめの学習を室内で行える。 ・体験、調べ学習、講義が一か所で行えるため、小学校などの総合的学習への高い効果が期待できる。	・多人数の受け入れが可能。 ・老人福祉センターや松伏町農村トレーニングセンターを基点に活動をする事で、調べ学習、まとめの学習を室内で行う事が出来る。 ・体験、調べ学習、講義が一か所で行えるため、子ども会、学童保育、公民館、小学校など様々な野外体験活動に高い効果が期待できる。	・河川水辺の環境教育に資することができる。	・5市1町で貴重な雑木林の管理、活用の検討ができる。 ・原風景である川と林の景観を回復できる。 ・農地景観を活用した観光振興や5市1町の住民の健康増進が検討できる。 ・「越谷ふるさと米」を生産するなど、環境への意識が高い農家が存在する。
発展性	・地域の農家の理解と協力を得る事で、周辺の水田地域での活動につなげる。 ・広く、多くの方が利用する公園である事を活かし、5市1町の緑と農の取組を発信する事で、多くの人に周知する事が出来る。	・旧金杉小学校校庭跡地や松伏町農村トレーニングセンターを活用しキャンプなどを行う事も検討出来る。 ・緑や農をテーマにし、5市1町の子どもたちと、老人福祉センターの方とが交流する取組を検討出来る。	・八潮フラワーパークへの来訪者を中川やしお水辺の楽校へ引き入れ、緑や環境への興味を持つきっかけづくりを行う。 ・中川やしお水辺の楽校ファンを育成し、緑や環境に関する活動団体へと発展させていく。	・「越谷ふるさと米」を生産するなど、環境への意識が高い農家と、獨協大学や文教大学の学生の連携した取組が考えられる。 ・様々な自然資源が存在する場所であるため、複数の要素を融合した取組を行っていく。

(2) シンボル地区の選定と選定理由

①条件

5市1町の中でも有数の水田地帯の中に存在する県立公園で、5市1町に緑と農の地域資源に優れており、農地の多面的効果を広く市民に知ってもらい、保全・活用につなげていく計画を検討するフィールドとして適している。

②事業の実現性

県立公園である事から、管理者が明確で、管理者から許可を受ける事で、イベントの開催が可能。

③管理体制

松伏町が県から管理委託をされている事から、松伏町と連携する事で、イベントをスムーズに行う事が可能。

④地元活動団体との調整

平成22年、行政が主体となり「水辺づくりプロジェクト」を実施し、「まつぶし緑の丘公園トンボクラブ」が発足しているが、現在の活動は水質調査のみであるため、公園内での保全・活用プログラムの実施に際しての調整は必要ない。

⑤まつぶし緑の丘公園の資源

○施設資源

駐車場やトイレをはじめレクチャーホールなど、様々な施設が充実しており、5市1町から人を集めて行う取組の開催に向いている。

○環境学習資源

里山、草原、水辺等様々な環境を内包している事。それらの環境を活かし、様々な環境学習プログラムを実施する事が可能である。

○参加協働資源

この公園の環境をより良くしていくためには、市民の方などに自分の公園として関わって頂く事が大切である。公園内には、市民の方と協同で行う事の出来る様々な資源が存在する。

(3) まつぶし緑の丘公園の現況分析

① まつぶし緑の丘公園の施設資源

① 調節池



写真Ⅲ-54

平常時は水鳥などの観察ができる。降水時には周囲の雨水を流入させ貯水し、下流側の水位が下がってから流すという調節を行っている。


② 木道



写真Ⅲ-55

調節池の中に張り出しており、平常時には、水を身近に感じる事が出来る。降水時には木道園路が水没する事がある。

③ 島



写真Ⅲ-56

調節池にあり、水鳥や昆虫などの生息空間となっている。一番大きなものは「ひょうたん島」と呼ばれている。

④ トンボ池



写真Ⅲ-57

湿地、池沼、ヨシ原などの自然度の高い水辺環境が整備され、野鳥や様々な生き物が集まる水辺区域。

⑤ 駐車場



写真Ⅲ-58

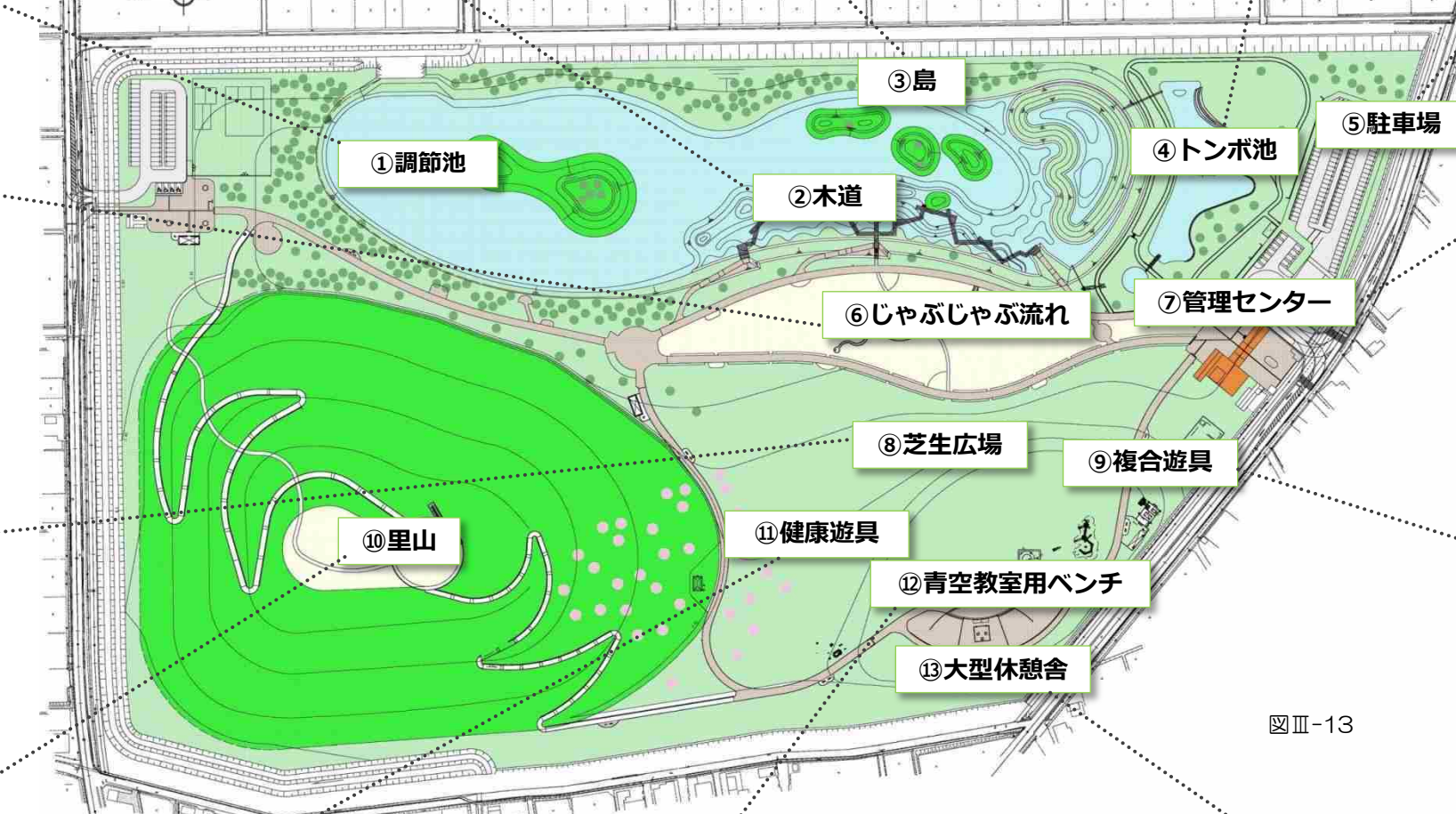
3箇所に分かれ、臨時駐車場をあわせ合計400台が駐車可能。更にスタッフ用として公園周辺に50台が駐車可能。

⑥ じゃぶじゃぶ流れ



写真Ⅲ-59

小さな子どもでも水と親しむ事が出来る、水の遊び場。(水が流れているのは5月～10月頃)



⑦ 管理センター



写真Ⅲ-60

公園管理施設やトイレ、自動販売機があるほか、レクチャーホール、サークル室、展示室等を完備しており、イベント開催には、雨天時の対応が可能。

⑧ 芝生広場



写真Ⅲ-61

園内の中心部にある広大な広場。ボール遊びやピクニック、レクリエーションなど様々な遊びができる。

⑨ 複合遊具



写真Ⅲ-62

子どもが楽しみながら体づくりができる遊具。体力向上のため握る・掴むといった多くの遊び機能を取り入れている。

⑩ 里山



写真Ⅲ-63

標高20mと地域のランドマークとなる里山は、5市1町の中で最も標高が高く、5市1町を遠くまで見渡す事が出来る。

⑪ 健康遊具



写真Ⅲ-64

子どもから大人まで楽しめる遊具。日頃の運動不足や生活習慣病から体を守り、気軽に健康づくりを楽しめる。

⑫ 青空教室用ベンチ



写真Ⅲ-65

広々とした青空と芝生をバックに、ベンチに座ってもらい40名同時に講習やイベント説明を行う事が出来る。

⑬ 大型休憩舎



写真Ⅲ-66

8基のピクニックテーブルの他にトイレや自動販売機が設置されている。施設全体が屋根のようになっており、小雨であれば、イベントが可能である。

②まつぶし緑の丘公園の環境学習資源

②野鳥や水辺の生き物の生息空間

「調節池」、「トンボ池」は湿地、池沼、ヨシ原などの自然度の高い水辺環境となっており、水生生物をはじめ、野鳥や様々な生き物の生息空間となっている。周辺の散策路や「木道」では、散策が出来る他、「調節池」に点在する「島」や「水面」には様々な野鳥が飛来し、バードウォッチングを楽しむことが出来る。中川にあるサギのコロニーをこちらに移す検討も行われた。

○水辺の自然資源を活用したイメージプログラム

- ・水辺の生き物観察会
(水辺で見られる生き物の解説付き観察会)
- ・水辺生き物探し
(生き物を探し、どんな種類が発見したかを発表)
- ・外来生物捕獲
(ザリガニ釣りなどの外来生物の捕獲)
- ・水質調査
(調節池やトンボ池で行う水質調査)



写真Ⅲ-68

①昆虫や樹林の小動物の生息空間



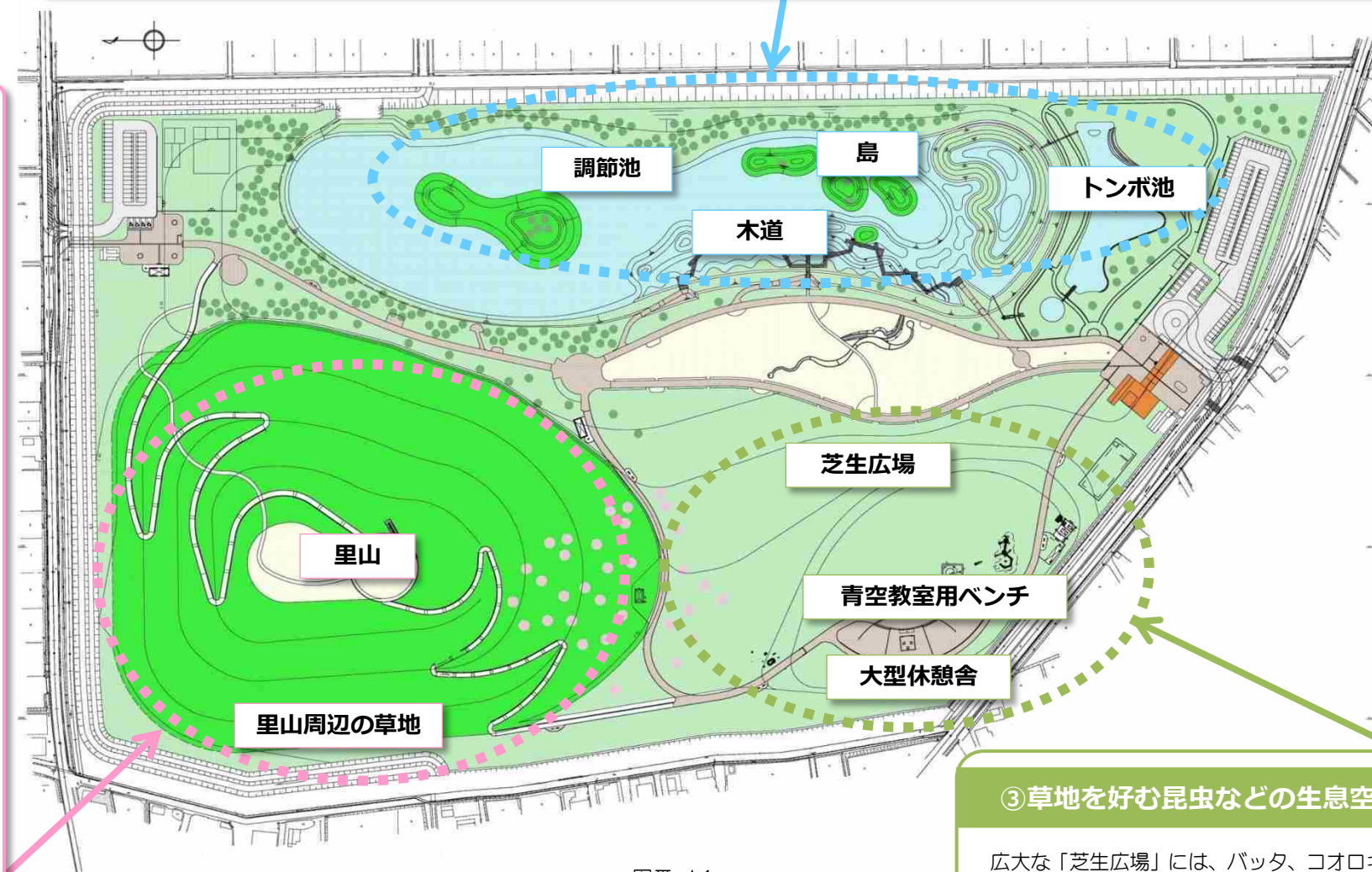
写真Ⅲ-67

「里山」、「里山周辺の草地」は、様々な種類の樹木が植えられている他、草地もある事から、昆虫や小動物などの生息空間となっている。

里山は「自然観察・学習・体験のできる雑木林エリア」と「自然の林に近い常緑樹のエリア」に分けられ、今後樹木が育っていく事で、更に様々な生き物の生息場所となる事が予測される。

○里山の自然資源を活用したイメージプログラム

- ・里山の生き物観察会
(里山で見られる生き物の解説付き観察会)
- ・里山生き物探し
(生き物を探し、どんな種類が発見したかを発表)
- ・藪漕ぎ体験
(雑草の中を歩いて生き物を探す)
- ・色々な葉っぱ探し
(里山にある様々な木の葉を集め、種類を解説)
- ・夜景観察
(里山の頂上から夜のまつぶしの風景を見る)
- ・虫の音を聞く会
(夜の里山の頂上で虫の音の種類を聞き分ける)



図Ⅲ-14

③草地を好む昆虫などの生息空間

広大な「芝生広場」には、バッタ、コオロギなどの草地を好む昆虫が生息しており、「大型休憩舎」や「青空教室用ベンチ」とともに、自然観察・学習・ネイチャーゲームの体験の場として使用する事が出来る。

○草地の自然資源を活用したイメージプログラム

- ・原っぱの生き物探し
(生き物を探し、どんな種類が発見したかを発表)
- ・サウンドマップづくり (周囲の音を聞き記号でカードに表現する)
- ・私は誰でしょう (生き物の習性や特徴を、ゲームを通じて学ぶ)
- ・自然のカルタ大会 (自然物を集めて、カルタの札として使う)



写真Ⅲ-69

③まつぶし緑の丘公園の参加協働資源

③水生植物の維持管理

野鳥や様々な生き物の生息空間となっている水辺空間だが、一定の管理が必要となる。計画的にヨシ刈りなど行うことで陸化の進行を妨げ、遷移の停滞管理を行い、より魅力ある水辺を創出できる。市民にヨシ刈り等を行って頂く事で、自然環境や生き物に関してより深く理解して頂く事が出来る。



写真Ⅲ-72

⑤外来生物の除去活動

公園内で見られる外来生物の駆除活動を市民などとともに行う事により、市民の外来生物に対する意識が向上するとともに、公園内の生物相も、より地域固有の姿に近づけていくことが出来る。



写真Ⅲ-74

①里山の管理



写真Ⅲ-70

新しく整備された里山に植えられた樹木はまだ樹高が低いため、十分な緑陰が作れず、雑草が繁茂してしまっている。それらの雑草の除去を一部市民などの参加協働で行う事を通し、次第に里山の樹木が成長し、成熟した樹林が形成されていく様子を見守って頂く事で、公園への愛着を生み出す事が出来る。



図Ⅲ-15

④園路の花植え



写真Ⅲ-73

園内の花壇の花植えを行ってもらう事で、公園を身近に感じてもらう事が出来る。

②樹木の支柱はずし

植樹から一定の期間が過ぎた事で、植樹の際に設置された、支柱が樹木成長に影響を与え始めている。この支柱の撤去作業を市民などとともに行う事により、公園の樹木に愛着を持って頂く。

<はずした支柱の活用>

- 一定の場所に集めて活用することで、様々な生き物の生息空間を創出する事ができる。
- 落ち葉の集積場所の整備に使用することができる。
- 園路の花植えのような資材として使用する事ができる。



写真Ⅲ-71

⑥写真などによる定点観測及び写真の投稿

写真撮影に公園を訪れる多くのカメラマンを対象に定点写真の提供を依頼する。年間を通した定点での写真により、公園の環境を把握につながるとともに、公園の経年変化も記録する事が出来る。また、携帯電話やスマホからの写真の投稿を行う事が出来るようにし、観察出来た生き物や、植物を送ってもらう事により、公園の生息生物についてより多くの情報を集める事が出来る。



写真Ⅲ-75

4. 「まつぶし緑の丘公園」を拠点としたシンボル事業

(1) 緑と農の地域資源の保全・活用計画

平成 27 年度の調査で、「豊かな自然資源的要素」、「土地の公的担保性の確保」、「管理活動などの担い手の存在」の視点から、モデル地区として設定された 4 つのモデル地区の中から、「まつぶし緑の丘公園」を対象地に選定し、「親子を対象とした環境学習企画」と「小学校の生徒を対象とした環境教育企画」を計画、実施した。

① 親子を対象とした環境学習企画

タイトル	ファイブ・ワン “子ども自然塾” 地域の農と自然を体験しよう！
日時	2016 年 11 月 5 日（土）午前の部 9 時～12 時 午後の部 13 時～16 時
場所	まつぶし緑の丘公園「芝生ゾーン」及び「里山ゾーン」
対象	5 市 1 町の小学生とその家族
主な内容	昔の農機具を使った稲の脱穀を体験、地域の伝統催事具“とうかんやのわらでっぼう”づくり、秋の草地の生き物を調べ

② 小学校の生徒を対象とした環境教育企画

タイトル	ファイブ・ワン “野外学習”
日時	2016 年 11 月 24 日（木）8 時 30 分～12 時
場所	まつぶし緑の丘公園「水辺ゾーン」及び「管理センター」
対象	越谷市立大袋東小学校 4 年生 3 クラス（94 名）
主な内容	小学校 4 年生の理科の教科書の内容に合わせた野外学習

(2) 親子を対象にした環境学習イベント

ファイブ・ワン「子ども自然塾」地域と農と自然を体験しよう！

地域の農と自然を体験しよう！

2016 11/5 (土)

ファイブワン 子ども自然塾

秋の草地の生きものを調べる

昔の農具を使った稲の脱穀を体験する

地域の伝統行事「とうかんのわらでつぼう」をつくる

対象 5市1町の小学生とその家族
(草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)

定員 各市町10組程度

開催日時 2016年11月5日(土)
①9時～12時 ②13時～16時

会場 まつぶし緑の丘公園
(現地集合、現地解散)

参加費 無料

申込み 各市町ごとにお申込み下さい。
※お申込みの際は「地域の農と自然を体験しよう！参加申込み」とお伝え下さい。

草加市：市民生活部 環境課 048-922-1519
越谷市：環境経済部 環境政策課 048-963-9183
八潮市：生活安全部 環境リサイクル課 048-996-2111

三郷市：環境安全部 クリーンライフ課 048-930-7715
吉川市：市民生活部 環境課 048-982-9696
松伏町：環境経済課 048-991-1840

主催 埼玉県東南部地域5市1町 緑と農の地域資源活用協議会

MAP

【アクセス】東武伊勢崎線せんげん台駅東口下車
・筑波急行バスで「まつぶし緑の丘公園」または「松伏町役場」行きバスを利用し、「まつぶし緑の丘公園」停留所下車
・茨城急行バスで「大正大学入口」行きバスを利用し、「新川西」停留所下車。バス進行方向約0.3km先の右手に北側入口

図Ⅲ-16

① 計画の概要

タイトル	ファイブ・ワン“子ども自然塾”地域と農と自然を体験しよう！
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「まつぶし緑の丘公園」を5市1町で行う一般向けの環境学習の拠点施設として活用し、今後の活動の幅を広げる。 ・5市1町の小学生とその家族に、身近にある農地とその多面的機能について理解してもらう。
テーマ選定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・農と緑の地域資源の保全・活用という基本的なテーマに即し、地域の自然と農を題材にした環境学習活動を行う。 ・地域の「緑」の構成要素である「農」について、文化的要素も交えて体験することにより、農を身近なものと感じてもらおうとともに、秋の草地に生息する生き物についての学習を行う。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①昔の農機具を使った稲の脱穀を体験する ②地域の伝統催事具“とうかんやのわらでっぼう”をつくる ③秋の草地の生き物を調べる
対象	5市1町の小学生とその家族
開催日時	2016年11月5日(土) ①9:00～12:00 ②13:00～16:00(午前と午後に分けて実施) 雨天時：別プログラム実施 荒天時：中止
会場	まつぶし緑の丘公園「芝生ゾーン」及び「里山ゾーン」
告知方法	各市町の広報、チラシ、HP

② 参加者の募集
○ 広報掲載状況

自治体名	種別	掲載媒体名 (所在)
草加市	広報誌	広報そうか No1167 2016年10月5日号(5面) 参考 https://www.city.soka.saitama.jp/shimin/koho/h28/16100599/161005_05.pdf
	HP	草加のイベント情報なら 草加ふささらポータル 参考 トップページ： http://www.soka-fusasara.net/ 掲載ページ： http://www.soka-fusasara.net/topic/detail/topic_id/6114/
	HP	草加子育て応援・情報サイト 参考 トップページ： http://www.soka-bokkurun.com/ 掲載ページ： http://www.soka-bokkurun.com/eventinfo/34516/ (削除済み)
越谷市	広報誌	広報こしがや No1340 2016年10月号(8面) 参考 http://www.city.koshigaya.saitama.jp/shisei/koho/koho_kosigaya/h_28/osirase2810.files/1340_H281001.pdf
	HP	越谷市公式HP 参考 トップページ： https://www.city.koshigaya.saitama.jp/ 掲載ページ： http://www.city.koshigaya.saitama.jp/kanko/event/kodomo/tiikinonoutomidoriwo taiken.html
	HP	越谷市観光協会HP 参考 トップページ： http://www.koshigaya-sightseeing.jp/ 掲載ページ： http://www.koshigaya-sightseeing.jp/info/20161105_fiveone/ (削除済み)
	HP	こしがや子育てクワイエ 参考 トップページ： https://twitter.com/Q_waie (ツイート)
八潮市	広報誌	広報やしお No791 平成28年10月号(8面) 参考 https://www.city.yashio.lg.jp/shisei/koho_kocho/kohoyashio/h28/kohoyashio2810.files/yashio_P8_hp.pdf
三郷市	広報誌	広報みさと No.842 平成28年10月号(15面) 参考 http://www.misato-city.com/topix.html
	HP	三郷市観光協会HP 参考 トップページ： http://www.misato-city.com/index.html 掲載ページ： http://www.misato-city.com/topix.html
吉川市	広報誌	広報よしかわ No729 201610号(記載箇所不明) 参考 不明
松伏町	広報誌	広報まつぶし No569 平成28年10月号(13面) 参考 http://www.town.matsubushi.lg.jp/www/contents/1474425572856/simple/569.pdf
	HP	松伏町公式HP 参考 トップページ： http://www.town.matsubushi.lg.jp/www/index.html 掲載ページ： http://www.town.matsubushi.lg.jp/www/contents/1475733983774/index.html

広報掲載例1：広報こしがや No1340 2016年10月号(8面)

このページは、2016年10月号の「こしがや」の8ページ目を示しています。上部には「こしがやイベントガイド」があり、市内の様々な行事が紹介されています。また、「リサフルラの教室」や「江戸時代からの伝統と格式を今に伝える」といった特集記事も見られます。赤い枠で囲まれた部分には、特定のイベントに関する詳細な情報が掲載されています。

◆地域の農と自然を体験しよう！
 11月5日(土)、①午前の部：午前9時～正午 ②午後の部：午後1時～4時 陽まつぶし緑の丘公園(松伏町大川戸2601の1)。現地集合・現地解散
 囚昔の農機具体験など 囚小学生と保護者各5組程度 囚無料
 囚動きやすい服と靴 囚団圓袴
 玉県東南部地域5市1町緑と農の地域資源活用協議会事務局(環境政策課(第三庁舎4階))
 ☎063-918-3303

図Ⅲ-17

広報掲載例2：松伏町公式HP

このページは、松伏町公式HPのスクリーンショットです。上部には「松伏町 まつぶし」のロゴと「笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち!」というキャッチフレーズがあります。ナビゲーションメニューには「トップページ」「暮らし」「福祉・子育て」「施設案内」「まちづくり」「市政情報」があります。メインコンテンツには、「5市1町緑と農の連携企画 「地域の農と自然を体験しよう!」参加者募集」という告知があり、イベントの詳細が記載されています。

図Ⅲ-18

募集体制

申込み窓口 : 各市町担当課
 事務局 : 埼玉県東南部地域 5 市 1 町 緑と農の地域資源活用協議会
 048-963-9183 (越谷市 環境経済部 環境政策課)
 受付内容 : 希望開始時間、参加者代表者氏名(子どもとの関係)、参加者
 (子ども)氏名、その他保護者氏名、その他保護者氏名、住
 所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、キャンセル待
 ちの有無 等

5市1町緑と農の連携企画「地域の農と自然を体験しよう！」 参加者受付表		
【概要】		
内 容	秋の草地の生きもの観察、昔の農機具を使った稲の脱穀体験、 地域の伝統行事“とうかんやのわらでっぼう”づくり	
と き	11月5日(土) ①9時～12時 ②13時～16時	
と ころ	まつぶし緑の丘公園(現地集合・現地解散)	
持 ち 物	動きやすい服装と靴	
対 象	小学生とその家族	
定 員	①5名程度 ②5名程度(先着順)	
参加費	無料	
受付情報	整理番号	
	申込み日時	
	希望時間	①9時～12時・②13時～16時・どちらでもいい
氏名等	参加者代表者氏名 (子どもとの関係)	
	参加者(子ども)氏名・学年 (複数の場合は別記)	
	保護者氏名 (子どもとの関係) (代表者の他にも参加される場合)	
連絡先	郵便番号	
	住所	
	電話番号 (連絡のつく番号)	
	FAX番号	
	メールアドレス ※あれば (PDFが受け取れるもの)	
キャンセル待ちの申し込み	キャンセル待ち	する・しない
	希望時間	①9時～12時・②13時～16時・どちらでもいい
	希望時間以外の参加	する・しない
備考		

図Ⅲ-19 参加者受付表

定員 : 各市町 午前5組 午後5組程度
 (先着順・キャンセル待ち可能)
 受付方法 : 電話・FAX 等
 参加希望者からのご質問 : URLKまで連絡

- 10/03（月） : 参加者募集開始（各自治体適宜）
 10/03（月）～10/28（金） : 参加者募集期間（募集人数に満たなかったため、当日まで募集）
 10/24（月） : 現状の参加申し込み状況をURLKに連絡
 10/25（火） : 各市町へ応募状況通知
 10/25（火）～10/27（木） : 追加申し込み状況をURLKに連絡
 10/28（金） : イベント開催通知発送（郵送）

募集から
開催までの
流れ



図Ⅲ-20 イベント開催通知

- 11/4（金） : 当日スタッフへ実施計画書を送付

③ 当日スケジュール

時間	項目		
08:00	スタッフ集合		
8:00~8:10	手順と安全確認		
8:10~8:30	午前の部	受付場設置・会場準備	
8:50~9:00		参加者受付	
9:00~9:10		開会式	
9:10~10:20		脱穀体験	
10:20~11:00		とうかんやのわらでっぼうづくり	
11:00~11:30		生きもの観察	
11:30~11:50		生きものの解説	
11:50~12:00		アンケート	
12:00		閉会式	
12:20~12:40		午後の部	会場準備
12:40~13:00			参加者受付
13:00~13:10	開会式		
13:10~14:20	脱穀体験		
14:20~15:00	とうかんやのわらでっぼうづくり		
15:00~15:30	生きもの観察		
15:30~15:50	生きものの解説		
15:50~16:00	アンケート		
16:00	閉会式		
16:00~16:30	会場片付け		

④ 実施結果

天 候	曇りのち晴れ
参加人数	<p>午前：7組 草加市：1組、越谷市：4組、八潮市：1組、吉川：1組</p> <p>午後：17組 越谷市：5組、八潮市：1組、三郷市：2組、吉川市：1組、松伏町：4組、 その他（野田市：2組、春日部市：1組、小金井市：1組）</p> <p>合計：24組 草加市：1組、越谷市：9組、八潮市：2組、三郷市：2組、吉川市：2組、松 伏町：4組、 その他4組（野田市：2組、春日部市：1組、小金井市：1組）</p>
事前 レクチャー	<p>・NPO 法人オリザネットより、体験前に資料・作業方法の説明を行い、身近な農や自然への理解の向上や、生き物への理解を図った。 (使用した説明資料は次ページ)</p>
実施内容①	<p>昔の農機具を使った稲の脱穀を体験（写真Ⅲ-76～79）</p> <p>・オリザネットより脱穀機の使い方や注意事項、選別方法の説明を受けたのち、グループごとに分かれ脱穀体験を実施した。</p>
実施内容②	<p>地域の伝統催事具“とうかんやのわらでっぽう”づくり（写真Ⅲ-80～83）</p> <p>・オリザネットから説明した後、家族ごとに分かれて制作体験を実施した。作成後は参加者全員で歌を歌いながら作成したわら鉄砲を地面にたたき、伝統的な催事の体験を行った。</p>
実施内容③	<p>秋の草地の生き物を調べ（写真Ⅲ-84～87）</p> <p>・里山ゾーンにて生き物調査を実施した。参加者に園内にいる生き物を捕まえて来てもらい、捕まえた生き物を専門家が同定。参加者には捕まえた生き物の名前をホワイトボードに記載してもらい、どのような生き物が生息しているか調査した。調査終了後は捕まえた生き物を講師が解説し生息する生き物の特徴などの学習を実施した。</p>
考 察	<p>・参加定員数を60組180名程度としていたが、実際の参加者数は24組73名と予定していた人数を大きく下回る結果になった。</p> <p>・午前中は気温が低く、天候も悪かったため当日参加の申し込みも伸びなかった。一方、午後の部では気温や天候も回復したことから、公園を訪れる人が増えたため、当日の申し込み者も複数組見られた。</p> <p>・脱穀体験では、脱穀機やふるい、唐箕など用意した道具が少なかったことや、当日申込み者による人数増加もあって予定した時間を超過した場面も見られたが、スタッフの臨機の対応により効率よくイベントを実施できた。</p>

⑤ 使用説明資料

地域の農の自然を体験しよう！

2016 11/5 (土)

わらでっぼうづくり
ショウリョウバッタ

だっごい体験

埼玉県東南部5市1町緑と農の活用協議会



発行 埼玉県東南部5市1町緑と農の活用協議会
制作協力 NPO 法人オリスネットワーク

秋の草地の生きもの



モズ
アキアカネ
ツユムシ
オソバハムシ
コハネアブ
ツチイモ
エンマココロキ
ニホンカマキリ
ニホンアマガエル
ナカホシテントウ
ベニシジミ

農業・農業地域のいろいろなのはたらき

農業・農業地域は、お米や野菜など、わたしたちの食べ物をつくるだけでなく、いろいろな働きがあります。このいろいろな働きは「**多面的機能**」(ためてききのう)とよばれています。

- カエルやメダカ、トンボやバッタなど、さまざまな生きものが育つ場所です。
- あげでかこまれた田んぼは水をためることができ、で、洪水を防ぐ働きがあります。
- 田んぼや畑、屋敷林などは、美しい風景をつくっています。
- すずしい風がひき、暑さをやわらげる働きがあります。
- さまざまな体験学習の場としての働きがあります。
- 虫じいや、とつかんやなどの伝統文化を伝えます。

などなど・・・

いろいろな働きをもつ農業・農業地域を大切にしましょう。

図Ⅲ-21 使用説明資料(表)

稲作の一年

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

種なまを育てる
代田か植え
水の管理
中ほし
穂が出る
稲の花が咲く
もみすり
かんそう
刈りだっこく

秋の農作業

機械の場合 (今のやりかた)

稲かり
コンバインで稲かりします。

コンバインは、稲かりをしながら、だっこくと選別をいっしょに行います。

体験する農作業

稲かり
かまで、稲をかります。竹の「のろし」に稲をかけてかんそうさせます。

だっこく
足踏みだっこく棒で、稲からもみをはずします。

選別
ふるいにかけて、わらともみを分けます。

もみ
もみすりをするとう玄米になります。

とうかんやのわらでっぼう

わらはかまをとる。
さいのものを置くくまき、わらの中心にくまき。

なわで、かたくしぼる。
しっかひ、まいていく。

押手をつくる。
くるとまわして、おもいつ通り地面をたたこう!

完成!

トウカンヤとは、旧暦10月10日のこと。今では、旧暦、新暦の10月10日、月遅れの11月10日等さまざま。仕事を休み、ぼたもちを作って神様に供えて、子どもたちが、わら鉄砲を作り、家の周りや畑を打ってまわるのが一般的。わら鉄砲で地面をたたくときの歌に、「十日後のぼたもち、生でもいけがら持ってこい」(草加市)、「大根が振ける、モグラひつ込め、ホーイ」(旧岩槻市)、「十日後のわら鉄砲、モグラひつ込め、大根とびだせ」(白岡市)などの歌詞がある。十日夜はモグラ退治とか、大根掘りの行事などの伝説もある。

(参考：中川水系総合調査報告書、平成15年、埼玉版)

図Ⅲ-22 使用説明資料(裏)

- ・体験前に NPO 法人オリザネットより資料・作業方法を説明。身近な農や自然への理解の向上や生き物への学習を図った。



図Ⅲ-23 配布した説明資料

<p>実施内容①</p>	<p>昔の農機具を使った稲の脱穀体験 (写真Ⅲ-76~79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリザネットより脱穀機の使い方や注意事項、選別方法の説明を受けたのち、グループごとに分かれ脱穀体験を実施した。
<p>実施内容②</p>	<p>地域の伝統催事具“とうかんやのわらでっぼう”づくり (写真Ⅲ-80~83)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリザネットから説明した後、家族ごとに分かれて制作体験を実施した。作成後は参加者全員で歌を歌いながら作成したわら鉄砲を地面にたたき、伝統的な催事の体験を行った。
<p>実施内容③</p>	<p>秋の草地の生き物を調べ (写真Ⅲ-84~87)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・里山ゾーンにて生き物調査を実施した。参加者に園内にいる生き物を捕まえて来てもらい、捕まえた生き物を専門家が同定。参加者には捕まえた生き物の名前をホワイトボードに記載してもらい、どのような生き物が生息しているか調査した。調査終了後は捕まえた生き物を講師が解説し生息する生き物の特徴などの学習を実施した。
<p>考 察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加定員数を 60 組 180 名程度としていたが、実際の参加者数は 24 組 73 名と予定していた人数を大きく下回る結果になった。午前中は気温が低く、天候も悪かったため当日参加の申し込みも伸びなかった。一方、午後の部では気温や天候も回復したことから、公園を訪れる人が増えたため、当日の申し込み者も複数組見られた。 ・脱穀体験では、脱穀機やふるい、唐箕など用意した道具が少なかったことや、当日申し込み者による人数増加もあって予定した時間を超過した場面も見られたが、スタッフの臨機対応により効率よくイベントを実施できた。
<p>アンケート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「今回のイベントを何で知りましたか」の質問にその他を除き、「チラシ」、「友人、知人から」が最も多かった。 ・「ふだん、身の回りや生活の中で地域の「緑」を感じることはありますか」の質問に、「ある」と答えたのが 5 人、「少しある」と答えたのが 4 人で、公園で感じる人が多かった。 ・「今回のイベントに参加した感想はいかがですか」の質問に参加者全員が「満足」「やや満足」と回答した。 ・「また、次回このようなイベントがあったら参加したいと思いますか」の質問に参加者全員が「参加したい」と答えた。

⑥ 当日の様子

○昔の農機具を使った稲の脱穀体験



写真Ⅲ-76 脱穀機の使い方講習



写真Ⅲ-77 脱穀体験の順番待ち



写真Ⅲ-78 脱穀体験



写真Ⅲ-79 のげとり体験

○地域の伝統催事具“とうかんやのわらでっぼう”づくり



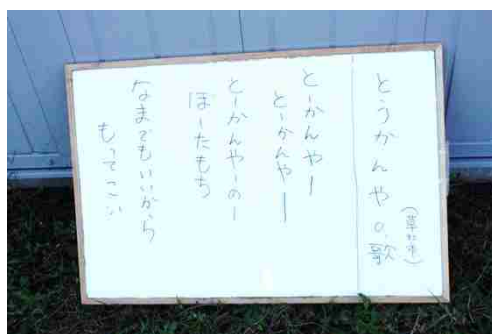
写真Ⅲ-80 わらでっぼうづくり
(サトイモの茎をワラで束ねる)



写真Ⅲ-81 わらでっぼうづくり
(縄で巻きつける)



写真Ⅲ-82 完成したわらでっぼうで
地面を叩く



写真Ⅲ-83 とうかんやの歌(草加市版)

○秋の草地の生き物を調べる



写真Ⅲ-84 生き物採集



写真Ⅲ-85 捕まえた生き物の名前を書き込む




写真Ⅲ-86 講師による同定



写真Ⅲ-87 講師による解説

⑦ アンケートの実施

○アンケート用紙



地域の農と自然を体験しよう！

参加者アンケート

この度は「ファイブワン こども自然塾 地域の農と自然を体験しよう！」へご参加ありがとうございました。今回のイベントを今後活かしていくため、アンケートへのご協力をお願い致します。

該当するものに○を付けて下さい。

お住まい	草加市 越谷市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町 その他 ()
子ども	1人目 ()年生 ()才 男 ・ 女
	2人目 ()年生 ()才 男 ・ 女
	3人目 ()年生 ()才 男 ・ 女
	4人目 ()年生 ()才 男 ・ 女
保護者	1人目 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70才以上 父 ・ 母 ・ 祖父 ・ 祖母 ・ その他 ()
	2人目 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70才以上 父 ・ 母 ・ 祖父 ・ 祖母 ・ その他 ()

Q1 今回のイベントを何で知りましたか？

1. 市や町の広報 2. チラシ 3. インターネット 4. 友人・知人・家族等から聞いて
5. その他 ()

Q2 今回のイベントに参加したいと思った理由は何ですか？（複数回答可）

子ども

1. 稲の脱穀体験に興味があった 2. “とうかんやのわらでっぼう”づくりに興味があった
3. 生きもの調べに興味があった 4. まつぶし緑の丘公園に来たかった
5. その他 ()

保護者

1. 稲の脱穀を体験させたかった 2. “とうかんやのわらでっぼう”づくりを体験させたかった
3. 生きもの調べを体験させたかった 4. まつぶし緑の丘公園に来たかった
6. その他 ()

▶ 裏面に続きます

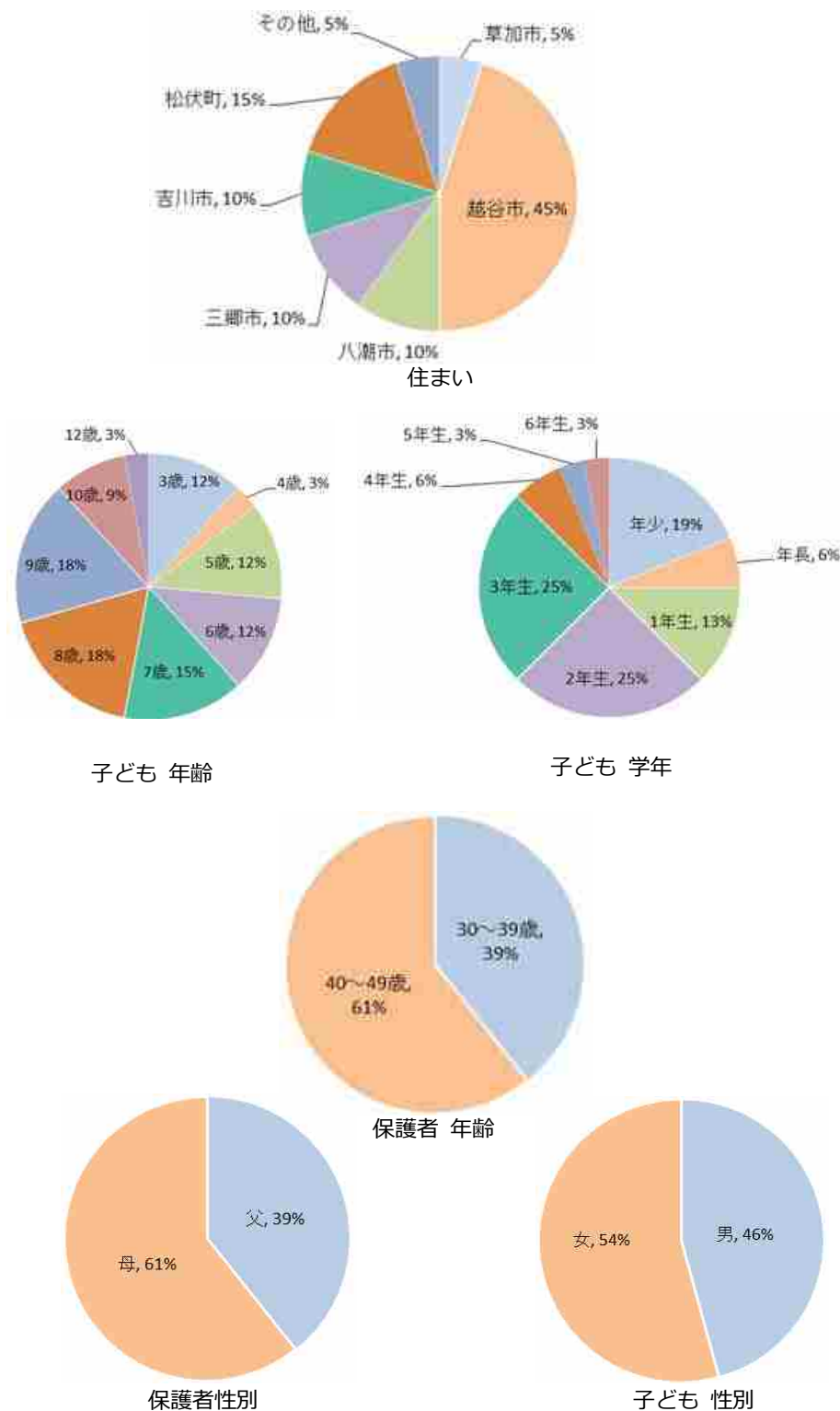
スタッフ記入欄

申込み	参加状況
事前 ・ 当日	全て ・ 部分 (脱穀 ・ わらでっぼう ・ いきものしらべ)

⑧ アンケート結果

参加者の属性

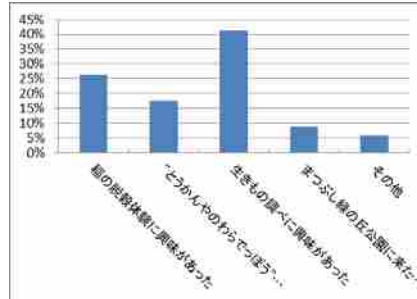
- ・隣接市である越谷市からの参加者が 45%と最も多く、次いで松伏町が 15%と多かった。
- ・子どもの年齢層は5歳～10歳(84%)、小学校の1年生～3年生(63%)が中心で、保護者の年齢は30代～40代の父母であった。
- ・子ども、保護者ともに男女の人数差は少なかった。



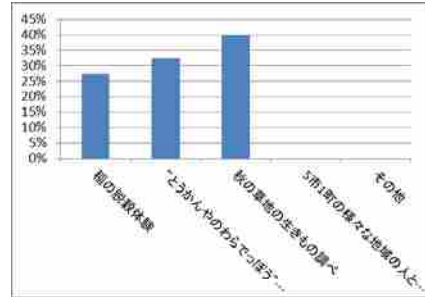
イベント内容

- 企画の中で「“とうかんやのわらでっぼう” づくり」は、子ども、保護者ともイベント開催後の人気が上っており、体験が想定していたより楽しかった事が分かる。

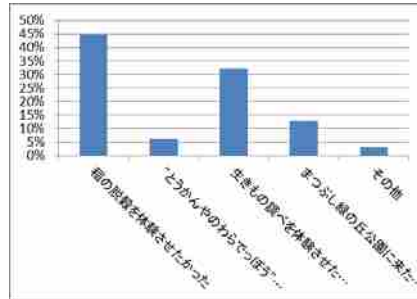
【イベント前】



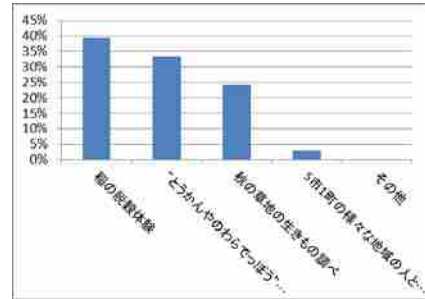
【イベント後】



参加したいと思った理由（子ども）



何が楽しかったか（子ども）



参加したいと思った理由（保護者）

何が楽しかったか（保護者）

身の回りの
「緑」や「農」

- 身の回りで「緑」を感じる（少し感じるを含む）保護者は 70%程で、その中心は「公園」、次いで「庭」であった。
- 身の回りで「農」を感じる（少し感じるを含む）保護者は 70%程で、その中心は「田畑」で、次いで「家庭菜園」であった。

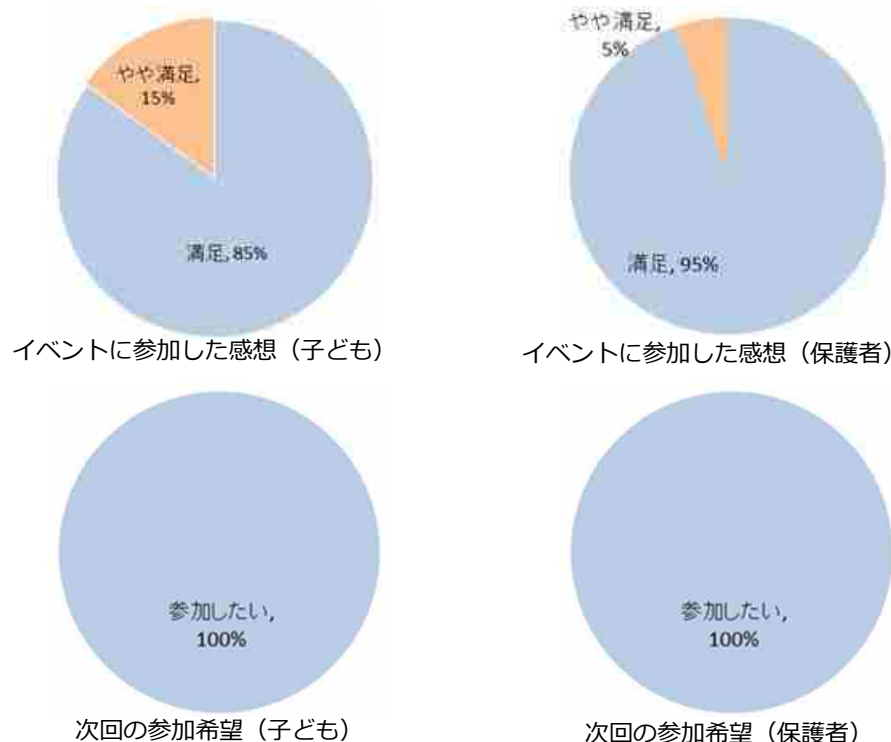
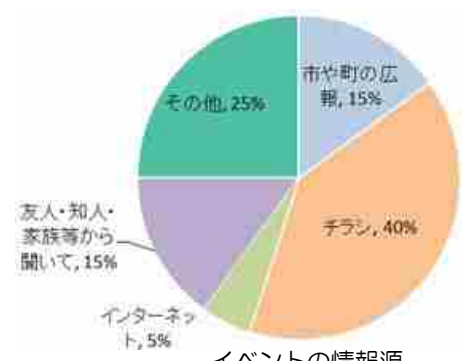


身の回りで「緑」を感じることもあるか

身の回りで「農」を感じることもあるか

何から感じたか
•公園（6件）
三郷公園、舎人公園
虫取りに公園へ行ったとき
•庭（2件）
庭でサツマイモを育てている
•林
•田んぼ
•中川の土手
•自宅周辺
•緑が多い

何から感じたか
•田畑（9件）
柿木田んぼ
三郷の田んぼ
•家庭菜園（2件）
庭で野菜を育てている
•水田
•公園
•自宅周辺

<p>満足度と 次回の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> • イベントの感想は子ども保護者ともに、100%が満足（やや満足を含む）で、全ての子ども、保護者が次回の参加を望んでおり、自由意見からも「もっと開催して欲しい」、「違う内容で開催して欲しい」、という、次回の開催を期待する意見が見られた。 • 参加者からの意見から、引き続きの開催が望まれている。  <p>イベントに参加した感想（子ども）</p> <p>イベントに参加した感想（保護者）</p> <p>次回の参加希望（子ども）</p> <p>次回の参加希望（保護者）</p>
<p>広報・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> • イベントの情報源は「チラシ」が40%と最も多く、次いで「市や町からの広報」15%、「友人、知人から」15%となっていたが、アンケートや当日の参加者の意見に、「もっとPRが行き届いていればもっと沢山の方が参加できる」という意見があった。  <p>イベントの情報源</p>
<p>アンケート 結果を 踏まえた考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 参加者が楽しみながら、自然や農に関わる地域の伝統的な催事の再生が出来た事は大きな成果である。 • 今後も引き続きの開催が期待されるが、広報、PRの充実については改善の余地が見られる。

○アンケート集計データ

ファイブワンこども自然塾 アンケート集計結果

平成28年11月5日（土）開催 9時～16時

開催場所：まつぶし緑の丘公園

●アンケート対象者

・お住まい

草加市	1	5%
越谷市	9	45%
八潮市	2	10%
三郷市	2	10%
吉川市	2	10%
松伏町	3	15%
その他	1	5%
合計	20	100%
未記入	0	

その他	春日部市
-----	------

【子ども】

・参加数

1人	8	40%
2人	8	40%
3人	4	20%
合計	20	100%
未記入	0	

・性別

男	16	46%
女	19	54%
合計	35	100%
未記入	1	

・学年

年少	6	19%
年長	2	6%
1年生	4	13%
2年生	8	25%
3年生	8	25%
4年生	2	6%
5年生	1	3%
6年生	1	3%
合計	32	100%
未記入	4	

・年齢

3歳	4	12%
4歳	1	3%
5歳	4	12%
6歳	4	12%
7歳	5	15%
8歳	6	18%
9歳	6	18%
10歳	3	9%
11歳	0	0%
12歳	1	3%
合計	34	100%
未記入	2	

【保護者】

・人数

1人	12	60%
2人	8	40%
合計	20	100%
未記入	0	

・年齢

20～29歳	0	0%
30～39歳	11	39%
40～49歳	17	61%
50～59歳	0	0%
60～69歳	0	0%
70才以上	0	0%
合計	28	100%
未記入	0	0%

・関係

父	11	39%
母	17	61%
合計	28	100%
未記入	0	0%

Q1 今回のイベントを何で知りましたか？

1 市や町の広報	3	15%
2 チラシ	8	40%
3 インターネット	1	5%
4 友人・知人・家族等から聞いて	3	15%
5 その他	5	25%
合計	20	100%
未記入	0	

Q2 今回のイベントに参加したいと思った理由は何ですか？（複数回答可）

【子ども】

1 稲の脱穀体験に興味があった	9	26%
2 “とうかんやのわらでっぼう” づくりに興味があった	6	18%
3 生きもの調べに興味があった	14	41%
4 まつぶし緑の丘公園に来たかった	3	9%
5 その他	2	6%
合計	34	100%
未記入	0	

【保護者】

1 稲の脱穀を体験させたかった	14	45%
2 “とうかんやのわらでっぼう” づくりを体験させたかった	2	6%
3 生きもの調べを体験させたかった	10	32%
4 まつぶし緑の丘公園に来たかった	4	13%
5 その他	1	3%
合計	31	100%
未記入	0	

Q3 実際にイベントに参加して、何が楽しかったですか？（複数回答可）

【子ども】

1 稲の脱穀体験	11	28%
2 “とうかんやのわらでっぼう” づくり	13	33%
3 秋の草地の生きもの調べ	16	40%
4 5市1町の様々な地域の人との交流	0	0%
5 その他	0	0%
合計	40	100%
未記入	0	

【保護者】

1 稲の脱穀体験	13	39%
2 “とうかんやのわらでっぼう” づくり	11	33%
3 秋の草地の生きもの調べ	8	24%
4 5市1町の様々な地域の人との交流	1	3%
5 その他	0	0%
合計	33	100%
未記入	0	

Q4 ふだん、身の回りや生活の中で地域の「緑」を感じることはありますか？

【保護者】

1 ある	10	53%
2 少しある	3	16%
3 あまりない	6	32%
4 全くない	0	0%
合計	19	100%
未記入	1	5%

「緑」を感じること
・公園（6件）
三郷公園、舎人公園
虫取りに公園へ行ったとき
・庭（2件）
庭でサツマイモを育てている
・林
・田んぼ
・中川の土手
・自宅周辺
・緑が多い

Q5 ふだん、身の回りや生活の中で地域の「農」を感じることはありますか？

【保護者】

1 ある	8	42%
2 少しある	5	26%
3 あまりない	5	26%
4 全くない	1	5%
合計	19	100%
未記入	1	5%

「農」を感じること

- ・田畑（9件）
柿木田んぼ
三郷の田んぼ
- ・家庭菜園（2件）
庭で野菜を育てている
- ・水田
- ・公園
- ・自宅周辺

Q6 今回のイベントに参加した感想はいかがですか？

【子ども】

1 満足	17	85%
2 やや満足	3	15%
3 やや不満	0	0%
4 不満	0	0%
5 どちらでもない	0	0%
合計	20	100%
未記入	0	

【保護者】

1 満足	18	95%
2 やや満足	1	5%
3 やや不満	0	0%
4 不満	0	0%
5 どちらでもない	0	0%
合計	19	100%
未記入	1	

Q7 また、次回このようなイベントがあったら参加したいと思いますか？

【子ども】

1 参加したい	20	100%
2 参加したいと思わない	0	0%
3 どちらでもない（わからない）	0	0%
合計	20	100%
未記入	0	0%

【保護者】

1 参加したい	20	100%
2 参加したいと思わない	0	0%
3 どちらでもない（わからない）	0	0%
合計	20	100%
未記入	0	0%

Q8 その他、今回のイベントで感じたこと、気になった事がありましたらお書きください。

●良かった（8件）

・良かった（2件）

良かったです。（親）

昔の体験をさせてあげられて良かった。（親）

・貴重な体験になった（4件）

住んでいる場所が駅前なので、緑も農もあまり感じる事のない毎日なので、貴重な体験が出来ました。（親）

普段体験できないようなことをこんな近くで体験できてとても貴重な時間となりました。ありがとうございました。（親）

普段体験できない事ばかりで説明もとても丁寧だったし、あっという間の3時間でした。うちは女の子で虫が苦手なのですが、今日はとても楽しく虫を捕まえることが出来て驚いています。楽しく参加しました。（親）

是非参加したいです。脱穀も記念になり嬉しいです。ありがとうございました。（親）

・その他（2件）

広くて山もあり家族で楽しめる公園。（親）

飽きた子の面倒を見てもらって（遊んでくれて）石川さんありがとうございました。（親）

●勉強になった（7件）

・虫について（5件）

虫を捕まえて名前を知れて良かった。（子ども）

虫についていろいろ教えて貰えてとても喜んでいました。（親）

また来たいと思いました。虫がこんなに色々な種類がいるんだと思いました。（子ども）

幼虫がブニョブニョしてるのが怖かった。（1年生）3年生の授業よりも虫の勉強になった。（3年生）

普段「良くわからない」「なんだっけ？」と思う虫の名称や違いが分かって面白かった。スタッフの方々、どうもありがとうございました。（親）

・その他（2件）

ありがとうございました。勉強になりました。（親）

とても充実したイベントでした。ありがとうございます。楽しかったです。（親）また来たいです。勉強になって良かったです。わからないことが減りました。昔の事もわかりました。（子ども）

●要望・改善点（6件）

・改善点（3件）

脱穀の作業は小さな子がけがをしないか少し心配しました。（子ども）

前半の農業体験、子供の待ちの時間が出来てしまい、飽きてしまった。スタッフさんは多いので、出来るだけ待ち時間を無いようにしてもらえると、中だるみがなくなると思います。（親）

イベントがある事をもっと宣伝してほしい。とても良い企画なので、そしたらもっとたくさんの方が参加できると思う。（親）

・要望（3件）

お米を食べたかった。（子ども）

年に1回だけじゃなく、もっとたくさんやって欲しいです。（親）

今度は異なる内容を期待します。（親）

(3) 小学校の生徒を対象とした環境教育イベント

ファイブ・ワン“野外学習”

① 計画の概要

タイトル	ファイブ・ワン“小学校体験学習しぜん塾”地域の農と自然の体感学習 ～秋から冬の生きものを学ぶ～
目的	①「まつぶし緑の丘公園」を小学校の5市1町全体の環境教育拠点施設として活用し、今後の活用の幅を広げる。 ②5市1町の小学校の生徒に、身近にある農地に住む生き物や魅力、更にその多面的機能について知り、感じてもらう。
テーマ選定の考え方	①地域の緑と農を活用した学習活動を行う。 ②4年生の理科の教科書の内容「秋の生きもの（秋の植物や昆虫の様子を観察し、春と夏との違いや季節変化を知る）」、「冬の生きもの（冬の植物や昆虫の様子を暖かい季節と比較）」に合わせた野外学習を行う。 ③暖かい季節と寒くなった季節の違いを同じ場所で比較するのではなく、すでに学んだ内容を踏まえて、実際の野外と比較できるようにする。
内容	①農と緑を利活用して課題解決に対応するという基本的なテーマに即し、地域の農と緑を題材にして、教科書に準拠した環境学習活動を行う。 ②小学校の生徒を対象とした環境教育イベント
主な内容	①鳥の変化 ②木の葉の変化 ③生きものの越冬準備 ④ハチマとさくら ⑤生き物の1年 ⑥生き物を探してみる
開催日時	2016年11月24日（木）8：30～12：00（荒天中止）
会場	まつぶし緑の丘公園 「芝生ゾーン」 及び 「里山ゾーン」
開催日時	2016年11月24日（木）8：30～12：00（荒天中止）
アクセス	大型バス2台（細井観光株式会社） ○配車 配車場所：大袋東小学校付近停車場

② スケジュール

時間	項目	場所	実施内容	備考
8:30	バス配車	大袋東小学校付近		
8:45	学校出発	大袋東小学校		学校スタッフ合流
8:45~9:00	生徒移動	—		
9:00	大袋東小学校 付近出発	大袋東小学校付近		
9:00~9:15	バス移動	—		
9:15	公園到着	公園駐車場		現地スタッフ合流
9:15~9:45	説明場所まで 移動	—		トイレ対応
9:45~10:15	講義 (30分)	レクチャーホール or 大型休憩舎	○3年生で学んだこと、4 年生で学習してきたこと のふりかえり ○これから学ぶ「秋から冬 の生き物」 ○現場で見てきてほしいもの	テキスト
10:15~11:00	野外学習実施 (45分)	芝生ゾーン& 里山ゾーン	現場で学習	
11:00~11:20	まとめ (20分)	レクチャーホール or 大型休憩舎	○今日見ることができたもの ○知ったこと、感じたこと	
11:20~11:30	出発準備	管理センター		トイレ対応
11:30	公園出発	公園駐車場		現地スタッフ片付
11:30~11:45	バス移動	—		
11:45	大袋東小学校 付近到着	大袋東小学校付近		
11:45~12:00	生徒移動	—		
12:00	学校到着	大袋東小学校		学校スタッフ解散


③ 実施手順

項目	内容	時間																												
<p>事前 レクチャー</p>	<p>学習のねらい 理科の教科書との関係 学習の方法 本日の学習エリア 注意事項 時間配分</p> <p>場所：レクチャーホール</p>	<p>25分</p>																												
<p>野外学習 ① 観察</p>	<p>スケッチと記録</p> <p>(1) 観察 当日の気温を示し、夏に比べて、生きものや植物は、どのように変わっているかを、実際に確認する。</p> <table border="1" data-bbox="427 920 1289 1852"> <thead> <tr> <th colspan="2">観察の対象</th> <th>気づきの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">樹木</td> <td>葉</td> <td>葉のない樹がある。枯れているわけではない。 葉があっても、緑色ではない。 葉が下に落ちている。 葉が落ちたあとの枝の表面が、おもしろい形になっている。</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td>実がなっている。 実が落ちている。</td> </tr> <tr> <td>冬芽</td> <td>うろこにおおわれているサクラの冬芽を見る。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">草</td> <td>ロゼット</td> <td>間もなくやってくる冬に備えて、植物の冬ごしの様子を調べる。地面に葉が張り付いている様子を見る。</td> </tr> <tr> <td>枯草</td> <td>寒くなると草は枯れる。</td> </tr> <tr> <td>ひっつきむし</td> <td>服に種がくっつく。</td> </tr> <tr> <td>根</td> <td>地上部分は枯れるが根が残っていて、来年芽が出てくるオギやヨシの様子。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">生きもの</td> <td>卵</td> <td>冬ごしのための、カマキリの卵</td> </tr> <tr> <td>さなぎ</td> <td>アゲハのさなぎ</td> </tr> <tr> <td>虫</td> <td>ほとんど見つからないか、いても動きがにぶい。 虫の動きのにぶさに気づく。 当日、晴れていれば、ひなたぼっこしている様子も観察できるかも。</td> </tr> <tr> <td>鳥</td> <td>ツバメは南の方に渡るが、北の方からやってくるものもいる。カモ。</td> </tr> </tbody> </table>	観察の対象		気づきの内容	樹木	葉	葉のない樹がある。枯れているわけではない。 葉があっても、緑色ではない。 葉が下に落ちている。 葉が落ちたあとの枝の表面が、おもしろい形になっている。	実	実がなっている。 実が落ちている。	冬芽	うろこにおおわれているサクラの冬芽を見る。	草	ロゼット	間もなくやってくる冬に備えて、植物の冬ごしの様子を調べる。地面に葉が張り付いている様子を見る。	枯草	寒くなると草は枯れる。	ひっつきむし	服に種がくっつく。	根	地上部分は枯れるが根が残っていて、来年芽が出てくるオギやヨシの様子。	生きもの	卵	冬ごしのための、カマキリの卵	さなぎ	アゲハのさなぎ	虫	ほとんど見つからないか、いても動きがにぶい。 虫の動きのにぶさに気づく。 当日、晴れていれば、ひなたぼっこしている様子も観察できるかも。	鳥	ツバメは南の方に渡るが、北の方からやってくるものもいる。カモ。	<p>45分</p>
観察の対象		気づきの内容																												
樹木	葉	葉のない樹がある。枯れているわけではない。 葉があっても、緑色ではない。 葉が下に落ちている。 葉が落ちたあとの枝の表面が、おもしろい形になっている。																												
	実	実がなっている。 実が落ちている。																												
	冬芽	うろこにおおわれているサクラの冬芽を見る。																												
草	ロゼット	間もなくやってくる冬に備えて、植物の冬ごしの様子を調べる。地面に葉が張り付いている様子を見る。																												
	枯草	寒くなると草は枯れる。																												
	ひっつきむし	服に種がくっつく。																												
	根	地上部分は枯れるが根が残っていて、来年芽が出てくるオギやヨシの様子。																												
生きもの	卵	冬ごしのための、カマキリの卵																												
	さなぎ	アゲハのさなぎ																												
	虫	ほとんど見つからないか、いても動きがにぶい。 虫の動きのにぶさに気づく。 当日、晴れていれば、ひなたぼっこしている様子も観察できるかも。																												
	鳥	ツバメは南の方に渡るが、北の方からやってくるものもいる。カモ。																												

野外学習
②記録

(2) 記録
寒くなってきたこの時期、生きものや植物はどうしているでしょうか。
冬に備えて、何をしていますでしょうか。
生きものや植物の様子をスケッチしましょう。感じたことがあれば、調査票に書きましょう。
調査票：A6

4年	1	2	3	組
なまえ				
月	日	天気	気温	℃
スケッチ 気づいたことも書こう				

<p>野外学習 ③場所</p>	<p>場所：トンボ池周辺</p>  <p>図Ⅲ-24</p>	
<p>まとめ</p>	<p>生きものマップふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に撮影しておいた写真を見て、みんなで確認する。  <p>図Ⅲ-25 模造紙</p> <p>場所：サークル室×3</p>	<p>25分</p>

④ 実施結果（※天候不良のため中止）

天 候	雪（写真Ⅲ-88～91）
参加人数	中止のため参加者なし（予定：越谷市立大袋東小学校 4 年生 3 クラス 94 名）
概 要	<ul style="list-style-type: none"> 天候不良のため、事務局（越谷市、UR リンケージ）と大袋東小学校中三川校長と協議を行い、イベント中止を決定した。 「まつぶし緑の丘公園」にて、事務局がイベント協力の NPO 法人オリザネットと打合せを実施し、今後の活動の方向性、実施予定のイベント内容等を検討した。（写真Ⅲ-91～95）
検討内容	<p>小学校の生徒を対象とした環境教育イベントを実施する意義について</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科の授業で、物理、化学分野は実体験できる場（越谷市科学技術体験センター ミラクル）があるが、生物科学分野は「生き物観察」などの野外での実体験の場がない。 小学校には理科専科の教員が少なく、野外体験学習は児童だけでなく教員の研修にも繋がる。 現在「まつぶし緑の丘公園」は、松伏町の指定管理になっており、一定以上の公園利用者数の確保が重要。平日に 5 市 1 町の小学校が環境教育の場として利用することで、利用者数の増加につながる。 今回のような環境教育イベントを実施するにはイベントに合わせ、ハビタットを増やす備えが必要で、草刈りや落ち葉掃きなどを生き物の生息域ごとに合わせて公園管理を部分的に変えて行う必要がある。
考 察	<ul style="list-style-type: none"> 天候が良い状態でのイベント開催を見込んでいたが、積雪や気温が低かったこともあり中止に至った。当日の天候が極端であったものの、雨天時の場合を想定したイベント対応が今後必要である。 小学校向け環境教育イベントの実例となるように、年間を通じて一般の子ども向けのイベントを実施してみることや、場所を変えても同じようなイベントが出来るようにしていく必要がある。
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> イベントを実施した場合、今回の企画を今後活かしていくためのアンケートを作成した。

⑤ アンケート用紙



『 秋～冬の生き物調べ 』 平成 28 年 11 月 24 日
アンケート

今回の企画を今後活かしていくため、アンケートへのご協力をお願い致します。

Q1 この公園（まつぶし緑の丘公園）に来たことがありましたか？ また、知っていましたか？

1. ある（2回以上） 2. ある（1回） 3. 無いけど知っていた 4. 無い 初めて知った

Q2 ふだん、身の回りで「自然の生き物（動物・植物）」を見つける事はありますか？

※「ある」「少しある」とお答えの方は、どんな所で見つけましたか？（ ）内にご記入下さい。

1. ある（ ） 2. 少しある（ ） 3. あまりない 4. 全くない
5. その他（ ）

Q3 今日の生き物調べは楽しかったですか？

1. 楽しかった 2. やや楽しかった 3. やや不満 4. 不満 5. どちらでもない

Q4 Q3の理由を書いて下さい

Q5 今日の生き物調べは学校の勉強の参考になりましたか？

1. なった 2. ややなった 3. あまりならない 4. ならない 5. どちらでもない

Q6 参考になった・ややなった人は、どんなことが参考になりましたか？

Q7 その他、今回の企画で感じたこと、気になった事がありましたら自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

埼玉県東南部地域 5 市 1 町 緑と農の地域資源活用協議会

⑥ 当日の様子

○「まつぶし緑の丘公園」の当日状況



写真Ⅲ-88 「まつぶし緑の丘公園」の状況



写真Ⅲ-89 「まつぶし緑の丘公園」の状況



写真Ⅲ-90 「まつぶし緑の丘公園」の状況



写真Ⅲ-91 「まつぶし緑の丘公園」の状況

○イベントで使用予定であった道具



写真Ⅲ-92 クロアゲハ・ナガサキアゲハの標



写真Ⅲ-93 カブトムシの幼虫が入ったケー



写真Ⅲ-94 サナギを入れる道具



写真Ⅲ-95 サナギを入れる道具

